

近森リハビリテーション病院 臨床栄養部

科長 上村 二美

人事

2020年度は管理栄養士1名が育児休業期間終了となり7月14日より勤務に復帰しました。復帰に伴い7月17日より管理栄養士1名が近森病院へ異動となりました。また、管理栄養士1名が12月26日より産休・育児休業となりました。そのため4月より近森病院で研修した管理栄養士1名が12月15日より採用となりました。

委託側のエームサービスは10月より主任栄養士が近森病院へ異動となり、代わりに他施設より支配人1名異動となりました。そのほか栄養士、調理師を含め3名が異動し、パート職員に関しては、9名の採用と5名の退職、2名の異動がありました。今年度も昨年同様、病院の管理栄養士にとっても、業務委託しているエームサービスにとっても異動や入職や退職の多い大変な1年でした。

栄養指導

前年度と比べると、新型コロナの影響等で入院患者も少なく面会制限もありましたが、入院時に家族含めた聞き取りと栄養指導をソーシャルディスタンスを保ちながら積極的に行いました。昨年度より58件少ない706件となっています。

NST

NST活動も18年目となり、1年間のNST介入件数は360件と前年度より90件少なくなっています。NST件数が減少した原因は前年度の11月よりALBの基準を3.2g/dLより3.0g/dLへ変更したことが大きな要因と思われます。経管栄養の患者さんは減少しており、必要量は充足できているが低栄養（ALB）改善しない患者さん等、件数は増加しています。本年度のNST介入内容は、ALB低値、経管栄養、食事摂取量低下、褥瘡の順で前年度と変わりありませんでした。

VF検査

嚥下機能の評価になるVF検査は497件と前年度（551件）より54件少なくなっています。1日平均2名のVF検査が行われ、VF検査のFAXの締め切り時間に関しても今年度も時間外オーダーはありませんでした。

まとめ

本年度は、産休・育児休業からの復帰と産休入りが1名ずつ、4名中2名（1名は新人）が入れ替わり、新人を教えながらの病棟業務や栄養指導等大変な1年間でした。また4月より診療報酬改定にて嚥下支援加算の算定要件として専任の常勤管理栄養士の参加が必須となりカンファレンスに参加しています。10月には保健所監査があり指摘なく終了しています。

その他に「いのちのスープ」に関しては昨年同様3ヶ月に1回のペースで提供を行うことが出来ました。また、月1回のイベント食は昨年同様行うことができました。しかしバイキングは、4月より新型コロナの影響から中止となっています。毎回好評をいただいているバイキング提供の再開を望んでいます。細かい対応とサービスの提供を行ってくれる委託スタッフに感謝し今後も委託スタッフと協働しながら、より良い食事サービスと栄養管理を行っていきたいと思います。

表 1 : 近森リハビリテーション病院 臨床栄養部 2020 年の主な出来事

1月	・辰巳芳子さんの「いのちのスープ」提供 (カリフラワーのポタージュ)
4月	・辰巳芳子さんの「いのちのスープ」提供 (ポルトガル風にんじんのポタージュ) ・嚥下支援カンファレンス開始
6月	・生鮮魚介類の使用停止(6月～10月) ・辰巳芳子さんの「いのちのスープ」提供 (アスパラガスのポタージュ)
9月	・辰巳芳子さんの「いのちのスープ」提供 (さつまいものポタージュ)
10月	・保健所監査

一般食	常食	17083 食	11.0%
	全粥	8747 食	5.0%
	分粥食	12 食	0%
	流動食	12 食	0%
特別食	加算	93173 食	58%
	非加算	41926 食	26%
合計		160953 食	100%

表 3 : 栄養指導件数

入院指導	706 件
外来指導	0 件

表 4 : 職員配置数

病院	管理栄養士 4 名
給食委託業者	栄養士 5 名
	調理師 1 名
	非常勤 13 名